

# 寺 報

龍正寺

日なた 87号

苦しみのは

仏様よりの

慈悲の心  
なり

日  
延  


<平成27年 8月>

宝 龍 会  
護 持 会

平成27年7月12日(日) 盂蘭盆施餓鬼大法要 開催報告



佐口上人による無量義経の説明



行道の様子① ご飯の上に旗を立てます



行道の様子② 水向け



行道の様子③ お焼香



行道の様子④



家族でご先祖供養の旗を立てます



親子3代でのご先祖供養です



みんなで一緒にお万燈の花作り

## — 住 職 一 言 —

今年は戦後70年です、平和で安穏な社会、華やかな家庭づくりと、皆々様が、一番願っておられる事ではないでしょうか……。

「白蓮大聖人御遺文」の中に、「生成仏抄」があります。その一説に、『衆生の心、けがるれば、土もけがれ、心清ければ、土も清しとて、浄土と云ひ、穢土と云うも土に、<sup>ふたつ</sup>二の隔<sup>ま</sup>りなし、只我等が、心の善悪によると見えたり。』

「訳」衆生の心が、けがれていれば、衆生の住む国土もけがれているし、反対に心が清ければ、国土も清い、浄土と言ったり、穢土と言ったりしても、そうした国土が、あるわけではない、私たちの、心の善悪によって、そのように見えるのである。

私たち人間は、縁によって、色々と変化し得るのです。

御遺文の中に、示されている、「土」は環境すべて、人々の「心」によって、浄土にも、穢土にも、なると思っています。

知らず知らずのうちに、責任転嫁をしてしまうことがあり、何に事も変わらぬ、腹をたててしまうことが、あるかと思ひ

ますが、色々な因果の縁によって、夫婦・親子となり、縁で結ばれているから、必ず良い事も、悪い事も、重なり合う部分があり、お互いに偏った方向に<sup>かたよ</sup>いるから、こま、まとまるものが、まとまる事が出来ず、悩む事が多いと思います、良い事を指し示せば、家庭環境も変わり、楽しい幸せな毎日が送れると、日蓮大聖人は説き教えて下さっておられます。

一人でも多くの人が、幸せである事を毎日祈り、つづけております。

南無妙法蓮華経

合掌

## 戦後 70 周年を迎えて

最近、新聞やテレビ等でかつての戦争に関する話題が多くなっています。今年は戦後 70 周年にあたる年なので何かと取りあげられているのでしよう。その事で私も戦争について考えてみようという気持ちにさせられました。私の両親は今年で 78 才と 71 才になります。祖父は 2 人とももう亡くなりましたが召集され戦地へ行っています。母方の祖父からは兵隊の時の話を聞かせてもらった事があります。海軍の船で一生懸命に仕事をしたんだよ、といった風で私たち孫におもしろおかしく話してくれた優しい祖父でした。でも本当は怖い思い、つらいことが沢山あったのだと思います。

戦争を体験された方々は現在はいかなりご高齢になられました。今まで心に閉じこめていた戦地でのつらい出来事をようやく語ろう、後世に伝えなければ、との思いで「テレビ」を通じて 私たちに話をして下さる方がいらっしゃいます。ずっと平和な世の中だと信じ切っ過ぎてきた自分の傍にこういう方がいらしたのだ。この方たちはどんな思いで毎年、終戦の日を迎えておられたのだろう、と思います。この方たちの話をしっかりと聴かなければ、と思いました。お話の中で「馬鹿された、とか知らなんだ、という事も罪なのだ」とおっしゃっていた事が心に残りました。戦争はどんな理由で正当化しようとしても人殺しの行為でしかありません。誰も原う事のない事態に国ぐるみ陥ってしまうところに恐怖を感じます。漠然と戦争はいけない。戦争反対と思っているだけでは戦争は防げないかもしれません。

学生時代に歴史で習ったはずの戦争に関連する出来事をもう一度、興味を持って知りたくなりました。

なぜ戦争になってしまったんだろう。それから中国や韓国から今だに日本から受けた被害について責められ続けているのはなぜなんだろう。

又、ご高齢の天皇、皇后両陛下が中継をはじめ南太平洋の戦場だった島々を慰霊で訪問されているお姿を拝見すると、今では日本人がリゾートで訪れる南の島々でどんな事があったのかを知る事は必要なのではと思う。

私も正直なところ政治関連の話題は苦手なのですが、わからないなりに知る努力はしないとけません。一人一人がしっかりと自覚を持って政治を人任せにしない事。選挙に真面目に参加する事。一人一人が馬鹿されないよう努力する事が大切なのではないでしょうか。

今年の終戦記念日には、もう戦争はしません、と改めて心に誓いたいです。

# 自己の振り返り

仕事をしていると自分ばかり大変な仕事をしていると感じながら、実際体力的にもきつハードな仕事でヘトヘトになり、帰路についていることが、しばしばあった。

工作中 眠そうにしているスタッフを見ると何で私ばかり、忙しい所で仕事をしているんだろうとモヤモヤした自分がいるのです。

お上人様に話をさせてもらい、『他と比べるなと比べてしまうから、自分ばかりが大変であると思ってしまう。他をみないようにしなさいといけないうね』...

『日蓮大聖人様が見てくれている。それだけ大変な仕事があるということは、まかせてもらえるということじゃないかな』... と教えていたにたいしているのですが、無意識に比べていたのでした。

今月無量義経を覚えようと毎日一回読むようになったから、文章からいろいろと想像して読んでいた自分がいました。

自分の心をどうもっていくか、自問自答の日々でした。  
ブタの本も同時に読んでいたのですが、自分の  
我との闘い、己への振り返りの日時間でもあった  
と思います。

施食我鬼の準備をしている時、仕事帰りで疲れて  
いたのと、脱水と思われる症状で立ってられなく  
なるくらいの体のしんどさがあり、何もできない  
自分のくやしさと、仕事での思いがあい混じり、  
涙が出てしまいました。

ブタの本の中で、『人生では、心がぶれてネガ  
ティブになることがいっぱいあります。』

心が安んじている状況であれば、いかなる  
ところで、いかなることも走りろうとも、心がくじ  
けることもなく、心がへこむこともなくなる』

何事にも惑わされない心をもつことが大事  
だと思いました。私は、日蓮太聖人様  
を信じていくことで強い心・ぶれない心  
を作っていくことの大切さを再認識しました。



# 法華經に癒されて

福祉の仕事をして丸三年がたちました。

まだまだ、日々勉強中の新米です。仕事で関わる高齢者の皆さんから、教えて頂く事がたくさんあります。

介護での技術力も必要ですが、それ以上にコミュニケーションをとる事がとても難しく感じています。

家族・知人でもない人に自分の体にさわれる事・人に見られたくない姿を見せる事は、とてもつらい事だと思います。だからこそ、専門的知識もですが、人と人が関わる時、第一はお互いの信頼関係ではないかと思っています。

仕事で訪問した時に「今日はあなたが来てくれたのよから、たゆ、」あんたなと良いよ、と言われると少しうれしくなります。しかし増上魔になってはいけません！！

何かのミスもきっかけにあっという間に信頼関係がくずれる事もあります。

毎日そのような緊張の中で仕事をしていると、夜になると疲れが表情にあらわれてしまう時があります。

ある時利用者の方に「ごーしたの いつも元気な人が…。」

「何かあったの？」と心配を掛けてしまいました。

「いつも元気な姿にパワーをもらってるよ。」と言われ、うれしさと申しわけなさに涙が出そうでした。

その方はほとんどベット上での生活です。この頃はテレビのリモコンのスイッチが押せなくなり、自分でテレビさえ見れなくなったと嘆かれます。でも私はいつもその方に、癒されています。夜の訪問時に「気をつけて帰りなさいよ」、「安全運転だよ。いねむりしないようにね。明日また来てよ。」とか細かい声を精一杯出して下さいます。そのたび、私はもうひと踏ん張りと言気もらいます。

人はどのような状態になっても、人を元気にしたり、勇気を与える事が出来るのです。その人の一言一言はとても温かく私の疲れた心身にしみてきました。幾ばくもない日々の中でも人は、誰かに喜び俵せを与える事ができる。仕事を通じて、「人として生きるとはどのような事か?」、「人生をどのように生きていけば良いか?」を学んでいます。そしてその学びは、法華經のお教えそのものである事を強く感じます。私も法華經のお教えを伝えていける人生を歩みたいと思います。

# 感謝

6月に大望の第一子を出産しました。

我が子を出産して、色々な方へ感謝の思いが

我が子は産まれる直前まで、生死を争っていました。

それは朝からお腹の痛みがいつもと違っていたのですが、痛みの  
間隔が、短くなるのではなく長くなっており、陣痛に気づけ  
ずにはいました。

しかし、痛みがいつもと違うことが気になり、お寺に参拝して、

お上人様にお腹を触ってもらった瞬間、お腹が「ポンッ」と

破裂音がなりすぐに破水し病院に走りました。その間、我が  
子は陣痛の中、お腹の中で頑張ってくれました。

普通なら、そのまま、自然分娩なののですが、私の骨盤が狭い

ため前日に帝王切開が決っていたのですが、破水のため

緊急帝王切開になりました。

緊急対応が必要な為、休日の医師も、急ぎよ来て

下さり、手術になりました。

子供がとり出されても、泣き声が小さく医師が「早く声  
をかせる」と大声でさけんでいました。私も意識がうすれ  
ていく中、その医師が子供のもとにかけつけ、背中をたた  
いて「オギャー」と泣せてくれました。

手術後に知った事ですが、子供は、一生懸命出ようとして、  
首がまが、ており、破水しなければ、危なかったと知りました。

ほかにも、切迫流産になったとき、家族、会社の人たちに力を  
借してもらえなかったら、我が子の顔を見ることはできませんでした。  
夫も仕事で疲れて帰ってきて、ゆっくりビールを飲んで、過ごしたい  
ところ、私がつわりの時期やイライラしている時期など文句  
一つ言わずに助けてくれました。

我が子を授かってから、本当に色々な方に助けて頂いたおかげ  
で、無事に出産することができたと思います。

仏様から、今回「命」の大切さ「感謝する心」を  
教えて頂きました。

南無妙法蓮華経

# < 8月行事予定 >

8月13日(木) 10:00~ 宗祖日蓮聖人報恩会  
鬼子母尊神 ) 祈禱会  
七面大明神 )  
大古久尊天祈願会  
松葉谷法難会  
年中予定表 8/27(木)を変更します

# < 住職行事内容 >

8月16日(日)  
} 身延 波木井山  
8月19日(水) 山実寺出張

# < 8月の予定 >

8月6日(木) 各々の時間で 清掃準備  
} ↓ ↓  
12日(水)